

聞かせてください。あなたが思い描く取手の未来

議員との意見交換会

5月13日(土)開催



取手市役所



藤代公民館



戸頭公民館

オンラインで
つながる



自宅等

- 日時：5月13日(土曜日)午前10時から2時間程度
会場：オンライン(Zoom)、取手市役所議会棟2階大会議室、
藤代公民館1階第3会議室、戸頭公民館2階講座室A
内容：第1部 フリーテーマ
第2部 投票率向上のため、議会・議員に期待すること
参加方法：【オンラインで参加】

事前登録が**必須**です。右のQRコードから登録をお願いします。

【会議室(取手市役所、藤代・戸頭公民館)で参加】
事前登録は不要ですが、なるべく事前登録にご協力をお願いします。

事前登録QR



締切：5月12日正午

246号

取手市議会だより

ひびき

令和5年4月15日

第1回定例会の討論

最小の経費で最大の効果を！ハイブリッド委員派遣 2・3ページ

第1回臨時会・第1回定例会の議決結果

4ページ

発行・編集責任者：取手市議会議長 金澤克仁
発行：取手市議会 編集：取手市議会事務局
住所：〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話：0297-74-2141
メールアドレス：gikai@city.toride.ibaraki.jp
Web版ひびきは、右のQRコードから

Web版ひびき



討論

第1回定例会で審議された議案・請願に対する議員の討論の概要をお伝えいたします。議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

市長提出議案

取手市教育委員会教育長の選任(伊藤 哲 氏)…同意

遠山議員…コロナ禍の中、他市町村では学校給食費の無償化が広がっているが、当市においては逆に、学校給食費が値上げされた。市民の値上げ反対の声や、子育て世代の実態を踏まえると、この案件には同意できない。反対。

細谷議員…藤代南中学校女子児童の自死事件があり、あえてこの苦難の道に飛び込んだ伊藤教育長。それを乗り越えての2期目となるが、さらに市のために教育の手腕を発揮してほしい。この貴重な人材を否定してはならない。賛成。

齋藤議員…県で教育に関する責任ある役職を長く経験しており、大所高所から、様々なことを考えている。その手腕に大いに期待。新しい市長が安定的に市政運営できる教育長である。賛成。

地域子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正…可決

〔内容〕開所時間の弾力化、職員の配置基準変更、戸頭と藤代の2か所で土曜開所(令和6年4月1日～)

遠山議員…全国に先駆けて、当初から保育士の資格を有する職員を配置して子育て相談や子どもたちの発達を育ててきた。職員の資格要件を外すことは大きな後退であり、賛成できない。反対。

久保田議員…時間の延長や土曜日の実施は、多様化している利用者のニーズに応えるもの。核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育ての不安・負担が増加する中で、保護者に寄り添う子育て支援センターの果たす役割は大きい。賛成。

根岸議員…改正内容に配置基準の要件緩和が含まれているが、配置は現在の1か所3名体制を維持し、適正な人材配置がなされているかを定期的に確認すること。賛成。

令和5年度国民健康保険事業特別会計予算…可決

加増議員…国保世帯の多くの方がコロナ禍によって疲弊する中、その暮らしと営業の回復・再生のために、国保税を引き下げることが必要。疲弊する国保加入者に高い国保税を押し付け、巨額基金を後世に温存するのは本末転倒。反対。

山野井議員…福祉厚生常任委員会で勉強会を行い、基金の活用について調査をしてきたが、令和4年度の国民健康保険税は間違いなく基金を活用されて減額になっている。基金がきちんと活用されたことを評価。賛成。

鈴木議員…団塊の世代の後期高齢者医療保険制度への移行や、被保険者1人当たりの保険給付費の増加、被保険者の低所得化という構造的な問題を抱えており、国民健康保険事業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、国保財政調整基金を取り崩して還元する政策は、健全な国保事業会計の崩壊を招き、近い将来、国民健康保険税の引き上げにつながりかねない。賛成。

令和5年度当初予算

令和5年度一般会計予算…可決

〔内容〕統一地方選挙があるため骨格予算で編成。魅力ある都市空間づくり、定住化の促進、少子高齢社会への対応、将来を見据えた持続可能な教育を基本方針とした上で、コロナ対策、市民協働と持続可能な自治体経営、地球温暖化対策の推進を重要施策としている。

関戸議員…物価の高騰等により市民の暮らしは深刻な状況。公立保育所の正規職員数増員、給食費の保護者負担軽減、コミュニティバス路線がなくなった高須地域への対応等が必要にもかかわらず、新年度予算は十分に回っていない。反対。
入江議員…高井小学校の校舎増築工事に向けた実施設計業務委託、白山小学校長寿命化改良事業、中学校部活動の地域移行事業をはじめとして、厳しい財政運営が求められる中、最終年度を迎える、とりで未来創造プラン2020の重点的な取り組みに必要な予算編成。賛成。

佐藤議員…定住化の促進、健康づくり事業、交通バリアフリー化による少子高齢社会への対応、学校長寿命化、通学路の安全対策、地球温暖化対策など、予算化されている事業は、顕在化している課題を着実に進め、潜在化している課題もしっかりと見据えている。賛成。

石井議員…4期16年にわたる藤井市政において、スマートウェルネスの取り組み、市街地整備事業、地域温暖化対策など、様々な事業が進められ、将来に向けた礎が築かれた。これらの事業の継続性にも配慮された持続可能性を高める予算編成。賛成。

落合議員…生産年齢人口の減少や少子高齢化社会の進展による社会保障費の増加、新型コロナ、緊迫した国際情勢など、予測不能な状況下にある。そうした中でも健全財政を維持し、限られた財源を、魅力ある都市空間づくりをはじめとした5つの重点事業などに適切に編成。賛成。

海東議員…出産・子育て応援相談事業、取手駅構内へのエレベーター整備やホームドア設置に対する補助金、白山小学校長寿命化改良事業、森林整備活動と環境教育事業など、骨格予算の中でも、限られた財源を効率的に活用して、持続可能な自治体経営を目指した予算編成となっている。賛成。

結城議員…取手駅東西口の喫煙所に関しては、元々は提出された請願を全員賛成で可決したことからの移設に至っている。議会で議決したことだから、ただ反対するだけではなく、政治が将来をつくる道具であることをしっかりと見据えるべき。賛成。



長寿命化改良工事(第1期)後の白山小学校体育館

議員提出議案

学校給食費の無償化を求める意見書…可決 (提出議員…岩澤 信ほか4人)

〔内容〕国の財政負担による学校給食費の無償化を迅速に実施することを求めるもの

遠山議員…本市の市民団体が学校給食費の無償化を公約に掲げていた大井川茨城県知事に1,000筆を超える署名を添えて、小中学校の学校給食費無償化を求める要望書を届けている。そうした市民の声と同調する意見書案に賛成。

染谷議員…臨時交付金を財源として給食費の無償化を行っている自治体の中には、厳しい財政状況の下、新たな財源の確保が必要となり、継続を見通せない自治体も出ている。自治体間格差を生まないためにも、国による財政負担は不可欠。賛成。

山野井議員…給食費については、義務教育の中にある国策の一つであると考えれば、可能な限り国において保障すべきもの。賛成。

請願

選挙公報の全戸配布に必要な施策や条例の制定などを早期迅速に実施することを求める請願書…不採択 (提出者…取手市の選挙投票率向上をめざす選挙公報の全戸配布を求める市民の会 代表 平 壽朗 紹介議員…細谷典男ほか1人)

関戸議員…これまでは選挙公報を新聞折り込みを通じて一部の購読世帯に配布をしてきた。この方法は、新聞を購読している世帯の有権者にしか届かず、公正・公平性という観点から問題。賛成。

根岸議員…選挙公報の全戸配布に時間と労力、経費がかかることは理解しているが、知る権利をしっかり担保することを諦めてはならない。どうしたら可能になるかを、いま一度考え、取り組むべき。賛成。

井野公民館エレベーター設置に関する請願…趣旨採択 (提出者…大塚秀子ほか704人 紹介議員…小池悦子ほか1人)

小池議員…高齢者や障がい者の方が安全に安心して利用できる施設は、誰にとっても利用しやすく便利な施設。市が進むべき方向に向けて本請願を採択することは、バリアフリーのまちづくりにおいても、議会としても大きな意義がある。趣旨採択に反対、請願採択に賛成。

根岸議員…災害時に避難所にもなり得る公共施設のバリアフリー化は必須。井野公民館へのエレベーター設置は難しいものの、可能性がないわけではない。また、階段昇降機の設置など、ほかの方法を検討する余地もある。趣旨採択に反対、請願採択に賛成。

趣旨採択とは…請願に対する議会の意思決定は、会議規則では「採択」か「不採択」の2種類です。しかし、願意は十分に理解できるものの、実現することが難しい場合に用いる議決結果として「趣旨採択」があります。

「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書…不採択 (提出者…茨城県労働組合総連合議長 白石 勝巳ほか1人 紹介議員…加増充子)

加増議員…現状の最低賃金911円では生活できず、消費意欲が抑制され、地域経済に悪影響を及ぼす。取手より、千葉県のほうが賃金が高いからと千葉県を選んだという声も聞かれる。このままでは、取手市内から若者が出ていく事態となる。賛成。

根岸議員…労働人口の約4割、女性に至っては6割が非正規雇用という現状。結婚できるだけの経済的余裕がなく、結婚できたとしても教育費が膨大で子どもを持つこと自体を諦めざるを得ない深刻な状況。一つの施策として賃金を上げて、結婚に踏み切れるだけの余裕を生むことが必要。賛成。

最小の経費で最大の効果を！ ハイブリッド委員派遣

建設経済常任委員会がデマンド交通について調査するため、山形県南陽市、福岡県嘉麻市、三重県三重郡菟野町へ、委員会の代表2~3名を派遣しました。



現地で説明を聞く派遣委員

取手市議会では令和2年度から、従前の委員会全員による遠隔地への先進地視察旅費を廃止。委員会を代表した数名を派遣する形に変更し、議員・委員派遣旅費を予算化して、効率的、かつ効果的なものになりました。(令和元年度当初予算では委員会旅費を138万6,000円としていましたが、令和4年度当初予算では議員・委員派遣旅費70万円に削減)

さらに今回の委員派遣では、Zoomを活用し、現地に赴いた委員以外の建設経済常任委員、委員外議員、取手市の関係部署職員もオンラインで視察に参加。現地とオンラインをつないだハイブリッドな取り組みを実施しました。



様々な場所から議員や職員が視察に参加

ICTを活用することで、経費を削減しつつ、今まで以上に多くの議員・職員が調査に参加することができ、効果的に先進事例の調査充実を図ることができました。

小池 悦子議員 辞職

3月30日付けで、小池悦子議員から議員辞職願が提出され、同日、議長はこれを許可しました。

◆各議員の一般質問については、市のホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」

検索

取手市議会だより「ひびき」第246号 (令和5年4月15日発行) 一般質問ページへのQRコード



